

CIE 草の根通信 90号

Kusanone Tsushin

[2017年2月15日発行]



特集

奈良大会

- ・ローカルツアー
- ・オープニングとクロージングの会場紹介
- ・地域分科会
- ・ポスト・サミット・オプション・プログラム

フェアヘイブンから「万次郎エッセイコンテスト」優勝者が来日!





次の花を咲かせよう。

世界を舞台に多岐にわたる分野で、
様々なビジネスを創造してきました。

それでも、まだまだ成長過程。

人のため、社会のために、

まだ見ぬ花を咲かせていきたい。

私たちはこれからも創造し続けます。

すべては、
ひとつの思いから。

奈良大会

第27回日米草の根交流サミット大会は、今年6月末から7月にかけて奈良県各地で開催されます。プログラムのメインとなる「地域分科会」も県北部を中心に10のセッションが用意され、それぞれの地域のキーパーソン、ボランティアの方々がアメリカの参加者を受入れるべく準備を始めています。また、昨年秋よりアメリカ側でも参加者募集活動が開始されました。

奈良大会を招致して下さった荒井県知事、また北河原奈良日米協会会長（東大寺長老）のメッセージをご紹介します。

ご挨拶



荒井 正吾

奈良県知事

奈良県知事として、第27回日米草の根交流サミット大会が奈良で開催されることを大変光栄に存じますとともに、参加される皆様に心より歓迎いたします。

奈良は、我が国の始まりの地として、また、東アジアやシルクロード諸国など海外との交流による国際性豊かな文化が開花した地として、1300年を超える悠久の歴史の中で培われてきた歴史文化遺産を数多く有し、比類ない歴史・文化的価値が現在に継承されています。

豊かな文化遺産と自然に恵まれ、国内外から数多くの観光客が訪れる奈良に滞在され、ホストファミリーと交流されることは、何物にも代えがたい思い出になることと思います。

米国の皆様のご来訪を心よりお待ちしております。



北河原 公敬

奈良日米協会会長
東大寺長老

日米の親睦と文化交流を進める奈良日米協会会長として、また、奈良を代表する寺院の一つ、東大寺の長老として、奈良で開催される第27回日米草の根交流サミット大会に参加される皆様に心より歓迎いたします。

奈良は8世紀に日本の首都が置かれ、諸外国との交流を通じて、日本の社会、文化の基礎が作り上げられた場所です。ユネスコの世界遺産に登録されている歴史的建造物等をはじめ、数多くの歴史文化遺産が、当時の様子をいまに伝えています。

日本で初めて諸外国に開かれたこの奈良の地で、日米の親睦と相互理解を深めることは、まことに意義深いことと考えます。

オープニング式典は東大寺金鐘会館で開催されます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

at Atlanta!

北河原・奈良日米協会会長には、昨年10月の広域アトランタ大会のクロージング式典にもご参加いただき、式典会場となったストーン・マウンテン州立公園で、アメリカのホスト・ファミリーやボランティアに奈良の歴史や文化についてお話いただき、古都奈良の魅力をアピールしていただきました。



奈良大会スケジュール

6月26日(月)	参加者、アメリカ各地を出発	機内
6月27日(火)	成田または羽田に到着後、伊丹空港へ 伊丹空港から専用バスでホテルへ	奈良ロイヤルホテル
6月28日(水)	午前～午後 オプション・ローカル・ツアー(4コースから選択) 午後 東大寺見学 東大寺・金鐘会館でオープニング式典／奈良ロイヤルホテルで歓迎レセプション	奈良ロイヤルホテル
6月29日(木)	朝 「鹿寄せ」見学 午前 地域分科会に出発 地域分科会開始	ホームステイ
6月30日(金)	終日 地域分科会	ホームステイ
7月1日(土)	終日 地域分科会 または、ホストファミリーとの一日	ホームステイ
7月2日(日)	午前 ホストファミリーとの時間 午後 奈良春日野国際フォーラム“麓”へ ホスト・ファミリーと移動 “麓”の能楽堂でクロージング式典／“麓”の日本庭園でフェアウェル・パーティー	ホテル日航奈良
7月3日(月)	午前 専用バスで伊丹空港へ 伊丹から成田または羽田経由で帰国 または、ポスト・サミット・オプション・プログラム等へ出発	

オプション・ローカル・ツアーで見所もしっかりと!

6月28日(水)の午前から午後にかけては、アメリカの皆さんに分科会で逗留する地域とは別の歴史・文化にも触れていただくため、4つのコースを用意しました。いずれも古都奈良ならではの魅力溢れるコースです。全てのコースの最後には、オープニング式典が開催される東大寺にお連れして、大仏をはじめ東大寺の見所も見学します。

6月28日(水)

A 法隆寺と春日大社



法隆寺



春日大社

B 大神神社、今西酒造、麵ゆう館三輪そうめん



大神神社



今西酒造

C 長谷寺と橿原神宮



© Hase-dera Temple
長谷寺



橿原神宮

D 依水園、奈良奥山ドライブウェイ、春日大社



依水園



© Eibun Kuwabara
春日大社

オープニングは東大寺、クロージングは能楽堂と日本庭園で!

オープニング式典は6月28日(水)夕刻近くから開催予定です。この日、参加者には朝からオプション・ローカル・ツアー(下の記事参照)を楽しんでいただきますが、そのツアーの最後は、数々の国宝を有し、古都奈良の文化財の一部として世界遺産にも登録されている東大寺。オープニング式典も、この東大寺の金鐘会館で開催します。



東大寺



金鐘会館

クロージング式典は3泊4日の地域分科会が終わる7月2日(日)の午後に開催します。できるだけ多くのホスト・ファミリーにも参加していただく予定です。奈良は能の発祥地でもあることから、クロージング式典会場は「奈良春日野国際フォーラム“麓”」の能楽堂で開催します。別れを惜しんでいただく最後のイベント、フェアウェルパーティーは、この“麓”の日本庭園を予定しています(雨天の場合には室内のホールで開催)。



能楽堂



日本庭園

9つの地域で10の地域分科会を開催!



6月29日(木)~7月1日(土)

日米草の根交流サミット大会の最大の目玉は、地元
の歴史や文化に直接触れ、体験し、ホスト・ファミリー
やボランティアと濃密に交流できる「地域分科会」で
す。奈良大会では、9つの市町村で10の分科会が開
催されます。

分科会に欠かせないのは、ホスト・ファミリーに加え、
プログラムをコーディネートするキーパーソンやボ
ランティア達。キーパーソンの自己紹介と、彼らが
誇る地域の魅力をご紹介します。



地域分科会とキーパーソンの紹介

1 奈良市



奈良市には多くの文化財や観光場所があり、奈良公園では鹿
に出会うことができます。8世紀、奈良には日本の首都があり、
平城京と呼ばれていました。そこには中国や韓国から人々が
訪れ、日本で最古の国際都市となりました。様々な文化が融
合し、平城京は日本の精神と文化の起源となりました。当時の
繁栄と自然を伝える社寺などの8箇所は世界遺産に登録され
ています。

キーパーソン

佐野 純子 さんの すみこ さん



1989年より奈良インターカルチャーの
代表を務め、こだわりの奈良魅力発信
講座を企画してきました。また、奈良
市国際交流ボランティア協会の事務局
長を18年にわたって務め、「ようこそ奈
良へ」の精神で外国の皆様の滞在中のプログラム(活動企
画・ホームステイ・観光企画)をサポートしています。奈良市
の魅力を体感していただきたいと思っています。

2 奈良市 フレンドシップ・フォース



奈良市は、8世紀に日本の首都が置かれた地であり、奈良公
園の近隣に8つものユネスコに登録された世界遺産がありま
す。もっとも有名なのは、世界最大の青銅製の仏像、東大寺
の大仏でしょう。奈良公園では、1200頭もの野生の鹿が市
民や旅行者を楽しませてくれます。奈良は、日本文化の発祥
地として、重要な役割を担った地です。

キーパーソン

仮家 正剛 さんの かりや まさよし さん



海外の方からは、愛称でマッシーと呼ば
れています。奈良フレンドシップ・
フォース(FF)の会長です。FFは、国
境を超えた友情を育むことを目的とした
国際的なボランティア組織です。日本
文化発祥の地、奈良の住民として、この街をFFのメンバー達
とともに紹介できるのは大変嬉しいことです。すばらしい思い
出を作っていたいだきたいと思っています。

3 そに 曾爾村



曾爾村は、奈良県の北東部に位置しています。夏でも涼しい高原で、そこに屏風岩、鎧岳、兜岳等の岸壁がそびえ立つ珍しい地形を形成しています。「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、ススキの名所として知られる曾爾高原と、曾爾の獅子舞は、同連合から「登録地域資源」に認定されています。曾爾高原は、「日本で最も美しい夕景がみられる高原」とも呼ばれる人気スポットです。

キーパーソン

木治 正人 きじまさひとさん



曾爾村観光協会会長を務めています。私達は美しい日本の田舎、曾爾村を盛りあげようと日々頑張っています。是非、日本の田舎「曾爾村」を体験していただきたいと思っています。アメリカの皆様と会える日を楽しみに、お待ちしております。

4 うだ 宇陀市



宇陀市は2006年に4町村が合併して生まれた新しい市。高原地域に位置しているので、冷涼で過ごしやすく、一年を通じて四季の移ろいをはっきり感じることができます。また、戦国武将の城跡である松山城跡、室生寺や宇太水分神社などの国宝を有する格式の高い寺社仏閣も数多くあります。豊かな薬草の産出地でもあったことから、神秘的な土地として人々の信仰を集めてきた顔もあります。魅力あふれる宇陀市でアメリカの皆様を歓迎いたします！

キーパーソン

北森 義卿 きたもりよしあきさん



室生国際交流村の代表を務めています。交流村の活動を始めて13年。私たちは外国人との交流を通じ、地域の活性化を目指しています。宇陀は豊かな自然、歴史的資源、人情味あふれた人々に恵まれ、これまで何人もの方から、「第二のふるさと」と喜んでいただきました。日本の古き良き田舎を楽しんでいただきたいと思っています。

5 桜井市



奈良県桜井市は、古代より「ヤマト」と呼ばれてきました。三輪山の麓に国のはじまりとなる「ヤマト王権」が誕生し、やがて古代国家となりました。桜井市は、まさに日本の原点。日本のローマとも称されるこの地を訪れ、1300年の伝統食で、日本麺食文化のルーツでもある「三輪素麺」を味わえば、まさに日本の歴史文化に出会うことができます。

キーパーソン

今西 将之 いまにしまさゆきさん



今西酒蔵の14代蔵主です。1983年、奈良県桜井市三輪に生まれ、大学卒業後大手企業で勤務した後、2011年、父の急逝に伴い、今西酒造代表取締役役に就任しました。日本酒造りに日々邁進し、地域の魅力を上げ、当蔵の酒を美味しく味わっていただくためにガイドツアーをはじめ様々な取り組みをしています。

6 高取町



高取は、万葉の時代から製薬や売薬を営む人が多い薬の町。百名城の一つで、日本一の規模を誇る山城、高取城が築かれた由緒ある地域でもあります。森の中にひっそりと今に残される堅固な石垣や、武家屋敷、商家の町並みから、昔の栄華を感じることができます。飛鳥時代の遺跡が点在し、先進文化を携えた渡来人の拠点となった悠久都市を体感していただきたいと思っています。

キーパーソン

明見 美代子 あけみ みよこさん



生まれも育ちも奈良県高取町です。行政で農業・福祉など地域の人たちと触れ合う部署を経験。また、障がい者の乗馬セラピーや障がい者福祉、若者やシニア、障がい者が農業を営む場所をつくってきました。高取町の自然や文化を私たちと一緒に楽しみたいと考えています。

7 明日香村



明日香村には1400年前の歴史資産が数多く残り、数10cm掘れば何かしら遺構が出てくるという、まさに日本発祥の地と呼ぶに相応しい地域です。また、厳しい景観規制によって懐かしい「日本の農村風景」を色濃く残しています。都会では決して体験できない、本当の日本を感じてもらえるはず。待たしていませんが、朗らかな飛鳥人(あすかびと)がお迎えいたします。

キーパーソン あきこ ゆき まみこ 明子、由希、麻美子&あやのさん



私達は、2011年から明日香村で海外・国内の修学旅行などをホームステイで受入れる、ホスト・ファミリー・コーディネーターを務めています。私達の夢は、日本文化の真の発祥地である、この魅力に溢れた明日香村を世界中の方々を知っていただくことです。アメリカの方々にこの地にお迎えして、本当の日本の生活を体験していただきたいと、今からわくわくしています。

私達は、2011年から明日香村で海外・国内の修学旅行などをホームステイで受入れる、ホスト・ファミリー・コーディネーターを務めています。私達の夢は、日本文化の真の発祥地である、この魅力に溢れた明日香村を世界中の方々を知っていただくことです。アメリカの方々にこの地にお迎えして、本当の日本の生活を体験していただきたいと、今からわくわくしています。

9 広陵町



広陵町は、奈良盆地のほぼ中央に位置し、豊かな緑とやさしい人々が息づく町です。南北に高田川・葛城川・曾我川が流れ、その周囲には整然とした田園風景が広がっています。西部の丘陵地域には県を代表する古墳が多数存在し、歴史のロマンが息づくとともに、良好な環境の振興住宅地(ニュータウン)として人口が伸び続けています。町を代表する靴下産業は生産量日本一です。

キーパーソン 荻本 洋一 おぎもとよういちさん



広陵町の職員です。地域振興を担当しています。町は『みなさんと共に「いい町」づくり』をスローガンに、対話を重視し、地域と行政が一体となって共に成長・発展できる「協働のまちづくり」を目指しており、子供から高齢者までのびのびと元気で「住んで良かった」と思ってもらえるようなまちづくりを進めています。

私達は、海外からのお客様に、本物の日本の家庭生活を体験してもらえるようにホームステイのプログラムも提供してきました。斑鳩でアメリカの皆様をお迎えするのを楽しみにしています。

8 檜原市 かしはら



古代ロマンを彷彿とさせる檜原市。日本最初の本格的都城・藤原京の跡地は今も草原のまま保存されています。そこから望む大和三山の眺めは悠久の時の流れを感じさせてくれます。伊勢参りや熊野詣での人々で賑わった江戸時代の面影を残す宿場町。重要伝統的建造物保存地区として、そのままの形で保存されている今井町。伝統と進歩を大切にする檜原でお待ちしております。

キーパーソン 佐々木 邦子 ささきくにこさん



檜原で英語教師をしています。また、ホスト・ファミリーグループの一員です。檜原市は、歴史と豊かな自然に恵まれた、静かで美しい街です。檜原の多くの芸術が外国からのお客様を魅了しています。ホームステイは、地域の文化や、そこに暮らす人々の日々の生活を知るための素晴らしい手段でもあります。アメリカの皆様と新しい絆を結ぶことを楽しみにしています！

私達は、海外からのお客様に、本物の日本の家庭生活を体験してもらえるようにホームステイのプログラムも提供してきました。斑鳩でアメリカの皆様をお迎えするのを楽しみにしています。

10 斑鳩町 いかるが



田園風景が広がる斑鳩町には、聖徳太子が建立した世界最古の木造建築であり、日本で初めて世界文化遺産に登録された「法隆寺」、現存する日本最古の三重塔、法隆寺とともに世界文化遺産の指定を受けている「法起寺」があります。「中宮寺」には、世界三大微笑像の一つとされる「菩薩半跏像」も。他にも、「法輪寺」、「吉田寺」、「史跡藤ノ木古墳」など歴史資産が豊富です。

キーパーソン 岡本 昇 おかもとのぼるさん



国際交流事業を推進する斑鳩国際友好協会(IIFA)の会長を務めています。私達の街は、1993年にユネスコに世界遺産として登録された法隆寺をはじめ、文化的な歴史資産に恵まれています。

私達は、海外からのお客様に、本物の日本の家庭生活を体験してもらえるようにホームステイのプログラムも提供してきました。斑鳩でアメリカの皆様をお迎えするのを楽しみにしています。

ポスト・サミット・オプション・プログラムは5つ!

奈良大会の後、せっかくだからもっと日本に滞在したいというアメリカからの参加者のために、5つのポスト・サミット・オプション・プログラムを準備しています。そのうち2つのコースには、ホームステイも含まれています。



7月3日(月)

1 京都ホームステイ2泊と東京



金閣寺



舞妓

Coordinator



国際草の根交流センターの
中山貴恵顧問が
コーディネートします。

2 金沢&能登ホームステイ(計3泊)と東京



金沢 兼六園



能登 白米千枚田

Coordinator



国際草の根交流センターの
魚岸志乃富顧問が
コーディネートします。

3 京都フリー

京都でホテルに宿泊し自由に過ごすコース



清水寺



伏見稲荷大社

4 大阪フリー

大阪でホテルに宿泊し自由に過ごすコース



道頓堀



たこ焼き

5 東京フリー

東京でホテルに宿泊し自由に過ごすコース



渋谷スクランブル交差点



銀座



あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

フェアハイブンから 「万次郎エッセイコンテスト」優勝者が来日!



東京では日野原重明聖路加国際病院名誉院長やフェアハイブン高校に留学していた田中葉由子さんにも面会

昨年10月末、米国マサチューセッツ州フェアハイブンから、一人の女子高生が来日しました。「第一回ジョン万次郎エッセイコンテスト」でみごと優勝したグレース・ダビニョンさんです。フェアハイブンは、万次郎が過ごした町。彼の故郷である高知県土佐清水市と姉妹都市提携をしています。高知で2015年から「ジョン万次郎英語弁論大会」が開催されているのに対応して、フェアハイブンでも昨年万次郎に関わるエッセイコンテストが開催され、その優勝のお祝いとして、大阪のNPO法人「ジョンマン・ホイットフィールドの会」の助成で来日したものです。

グレースさんは、土佐清水で開催された「第6回ジョン万祭り」に参加し、地元の清水高校の生徒達と交流。東京では、105歳になられた日野原重明聖路加国際病院名誉院長にも面会しました。彼女のエッセイを以下にご紹介します。

ホイットフィールド 船長と 中浜万次郎の感動の物語

グレース・ダビニョン



ジョン万祭りでカルタ取りに参加するグレースさん

(前半略)

万次郎の挑戦と私の人生の目標の間には関係があります。私の目標は、大人になったら旅行することです。世界の他の文化を感じたいからです。私は今までずっと同じ町で過ごしてきました。素晴らしい町ではあるのですが、私は別の世界も見たいのです。私がいろいろな文化に興味を持つのは、アメリカの文化と他の文化には大きな違いがあるからです。この違いは何なのか私は知りたいのです。人は片隅の小さな町で人生を過ごすためにこの地球上に存在しているのではないと信じているからです。私は人生を最高に送りたいのです。そして私にとって、旅行こそがそれを可能にしてくれます。万次郎の目標と同じように、私の目標は簡単に手に入れられるものではありません。まず仕事をしなければ旅行を簡単

に始められません。自分の力で旅行をしたければ、旅行費用を貯めるために仕事をしなければなりません。外国で勉強することを決めたならば、私にとってどのような楽しみがあり、良い結果が得られるかという感触を得るために、他の国ではどのような勉強の機会があるのか調べなければなりません。どの道を選ぶにしても、学習と経験が必要です。私は人生の目標をつかむために勉強と仕事をしますが、その途中には困難が待っているでしょう。でも、それは万次郎が旅の途中で経験した困難とは比べ物になりません。

ホイットフィールド船長と万次郎の物語に、私は感動しています。万次郎が日本とアメリカの間に作ったつながりは、1800年代の日本が他の文化を学ぶ手助けになったばかりではなく、今日も続いている二つの町の姉妹関係も作り出しました。「危険で不安定な生活の中で、彼は、太平洋の島々に立ち寄り、アメリカ合衆国の小さな捕鯨の町と日本の自分の漁村をつなぐ象徴となる大きな橋を作り上げた」と、ドナルド・R・バーナードは著書の“The Life and Times of John Manjiro”で述べています。万次郎の旅はときには困難なこともありましたが、彼は訪れた場所でしっかり成功しています。万次郎はアメリカを旅して、時間をかけて、多くの人たちと交流しました。どこを訪ねても、彼はその場所と人々から学び取り



帰国後、グレースさんからは来日の感想文も届きました。

『想像をはるかに超える経験をさせていただきました。東京に着いた時、日米の違いをリストにし始めたのですが、しばらくすると、それらがあまりに多すぎて完成させることはできませんでした。10日間の旅で、日本の方々は本当に素晴らしいという印象を持ちました。東京でもそうですが、特に土佐清水では、たくさんの方々と知り合うことができ、また、伝統的な日本文化にも触れることができました。世界でもっとも進んだ都市のひとつ、東京でも明治神宮のような歴史的かつ荘厳な文化が残されていることにも驚きました。こうした経験を両親や友人とも共有したいと思います。一生忘れることができない旅となりました。(抄訳)』



地元の新聞でも大きな記事になりました



グレースさんと清水高校の生徒達

ました。日本に戻って訊問されたとき、彼はアメリカ文化について役人に伝えました—宗教、葬儀、政府、刑事裁判、結婚、日常生活、技術、音楽などについて。万次郎が身につけた技術は日本にとって役に立つものでした。翻訳者として本を翻訳し、航海術の先生であり、日本初の捕鯨産業を始め、その他でも日本の役に立ちました。万次郎にまつわるあらゆる話の中で最も感動的なことは、あらゆることに彼に苦難をもたらすようなものに思ってしまう、終わりのない旅をしたという事実です。でも彼はあきらめなかった。万次郎は旅行中に多くの障害にぶつかりました。例えば、日本に帰るとき長い航海をして、さらにあちこちに送られ、日本に着いた後も、何カ月も尋問を受けたことなどです。このような苦難を経験しても、万次郎はあきらめなかった。故郷の母親のところに着くまで、彼は努力しました。万次郎が自らの旅を通して私に教えてくれた教訓は、人生でどれほど厳しい苦難に出会っても、幸せを追い求めて、決してあきらめるなということです。

(翻訳：平田潔)

The Inspirational Story of Captain William Whitfield and Manjiro Nakahama

Grace Davignon

Manjiro's challenges relate to a large goal in my life. My goal is to travel when I am older, because I would like to get a sense for other cultures in the world. I have lived in the same town my entire life, and while it is a nice town, I would like to explore the rest of the world. Different cultures interest me because I know that a lot of cultures are very different from American culture, and I would like to learn what those differences are. I also believe that people aren't put on this Earth to live their entire life in a few little towns. I want to live my life to the fullest, and to me, traveling is how I can do that. Like Manjiro's goal, my goal is not easy to get to. I cannot simply start traveling without doing the work first. If I want to travel on my own, I will have to work hard to save money to travel. If I decide to study abroad, I will have to do research of what educational opportunities exist in other countries to get a feel for what I will enjoy and excel in the most. No matter which path I take, learning is required. However, although getting to my goal in life will take work, and I will face challenges throughout it, none of it will ever compare to what Manjiro went through on his journey.

The Whitfield-Manjiro story inspires me greatly. The link that Manjiro made between Japan and America not only helped Japan learn about other cultures in the 1800's, but it also created a bond between the two sister-cities that still lasts today. "In the course of a dangerous and uncertain life, he constructed an enormous symbolic bridge linking a small whaling village in the United States with his own fishing village in Japan and touching upon many Pacific islands along the way," says Donald R. Bernard in the book *The Life and Times of John Manjiro*. Even though Manjiro's journey was difficult at times, he thrived in the places he visited. By traveling and spending time in America, Manjiro built connections with many people across the world. Everywhere that Manjiro visited, he learned from the place and the people. When he was questioned after he returned to Japan, he informed Japanese officials of what American culture was like—religion, funerals, government, criminal justice, marriage, daily life, technology, and music. Manjiro's skills were also very helpful to his nation. He translated a book and was a translator and a Professor of Navigation, started the first whaling industry in Japan, and helped his country in many other ways. The most inspiring part of the entire story, however, was the fact that Manjiro was on what probably seemed like a never ending journey in which all he did was face hardships, yet he never gave up. Manjiro faced many obstacles during his journey, such as sailing all the way home to Japan then being sent away, and being questioned for months after finally reaching Japan. However, through all of these hardships, Manjiro never gave up. He just kept working until he got home to his mother. Manjiro's attitude through his journey taught me a lesson—that no matter how difficult life may get, you must not give up on happiness.

平成28年度 寄附協賛企業一覧 (五十音順)
List of Corporate sponsors of CIE Japan FY2016



アイシン精機株式会社
AISIN SEIKI Co., Ltd



鹿島建設株式会社
Kajima Corporation



キッコーマン株式会社
Kikkoman Corporation



株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION



全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.



ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.



株式会社デンソー
DENSO CORPORATION



豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.



トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION



株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation



豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION



トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION



株式会社ニフコ
Nifco Inc.



日本郵船株式会社
NIPPON YUSEN KABUSHIKI
KAISHA (NYK LINE)



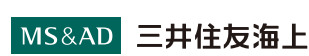
日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.



富士通株式会社
Fujitsu Limited



ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited



株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation



三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation



三菱食品株式会社
Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd



明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

愛知製鋼株式会社 / アサヒグループホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社 / パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社
AICHI STEEL CORPORATION / Asahi Group Holdings, Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. / Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

平成28年度 法人賛助会員一覧 (五十音順)
Corporate members

明治安田生命保険相互会社 / 株式会社三菱東京UFJ銀行
Meiji Yasuda Life Insurance Co. / The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.